	1階床梁伏図	A1：1/200 A3：1/400

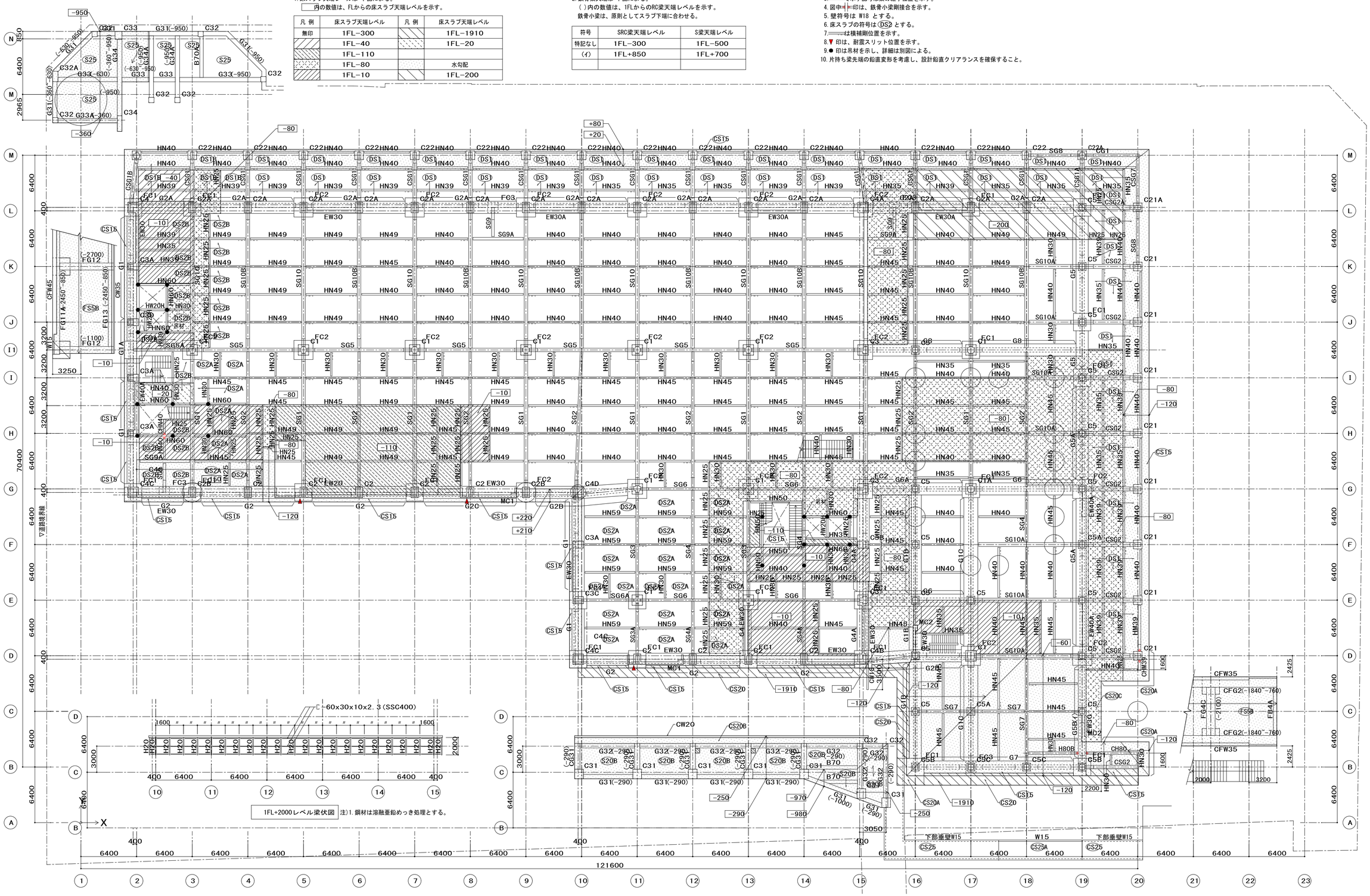
注）特記なき限り、下記による。
1. 床スラブ天端レベルは 下記による。
□内の数値は、FLからの床スラブ天端レベルを示す。

凡 例	床スラブ天端レベル	凡 例	床スラブ天端レベル
無印	1FL−300		1FL−1910
	1FL−40		1FL−20
	1FL−110		
	1FL−80		水勾配
	1FL−10		1FL−200

2. 鉄骨梁天端は 下記による。
（ ）内の数値は、1FLからのRC梁天端レベルを示す。
鉄骨小梁は、原則としてスラブ下端に合わせる。

符号	SRC梁天端レベル	S梁天端レベル
特記なし	1FL−300	1FL−500
(イ)	1FL+850	1FL+700

3.═══で示す記号は梁の継手位置を示す。
4. 図中┼┼印は、鉄骨小梁剛接合を示す。
5. 壁符号は W18 とする。
6. 床スラブの符号は DS2 とする。
7.═══は構補剛位置を示す。
8.▼印は、耐震スリット位置を示す。
9.●印は吊材を示し、詳細は別図による。
10. 片持ち梁先端の鉛直変形を考慮し、設計鉛直クリアランスを確保すること。



着工	平成 28年 6 25								
竣工	令和 元年 11 30								
監理			監理 日建・上田特定監理業務等共同企業体						
施工			施工 大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体						
			−川元. も						

凡例

コンクリート壁	コンクリート壁開口	床開口部	(K) 階 段	下部2重スラブ	スラブリブ
基準FLよりの上り下り	土間コンクリート	捨てコンクリート	(SK) 鉄骨階段	水下 → 水上 床水勾配	

完成図 構-30

日建・上田特定設計委託業務
共同企業体

高知市都市建設部公共建築課					
担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長

高知市新庁舎建設工事

1階床梁伏図

構 30
4 − 6

NO. 0−140004−B